

## 妙高山の火山活動解説資料（平成 28 年 1 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 1～3）

国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所の協力により 29 日に実施した上空からの観測では、火口原南側の地獄谷噴気地帯から噴気が上がっているのを確認しました。地獄谷噴気地帯では以前から噴気が上がっているのが確認されています。その他の異常は認められませんでした。

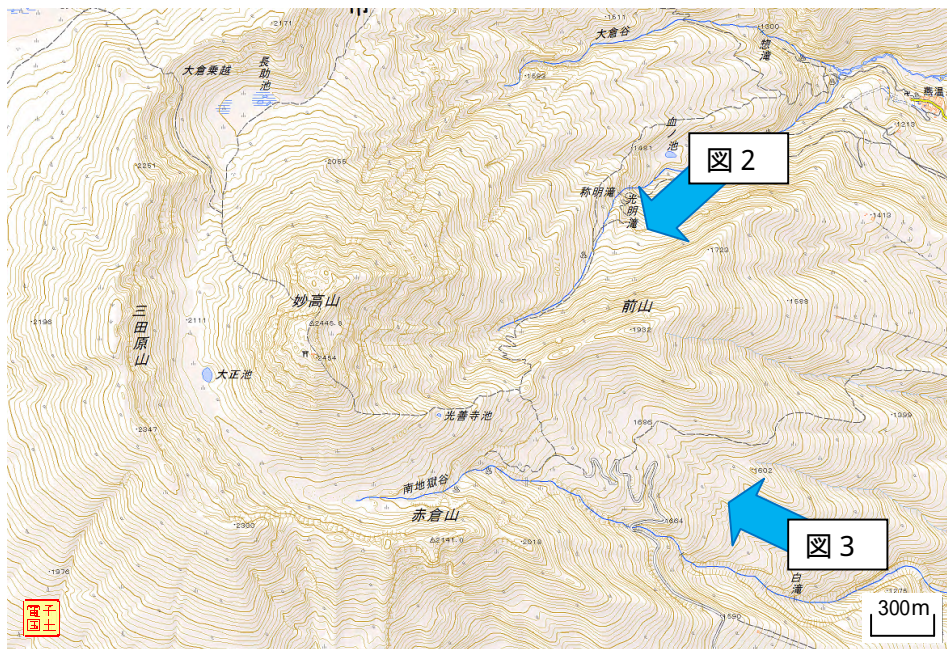
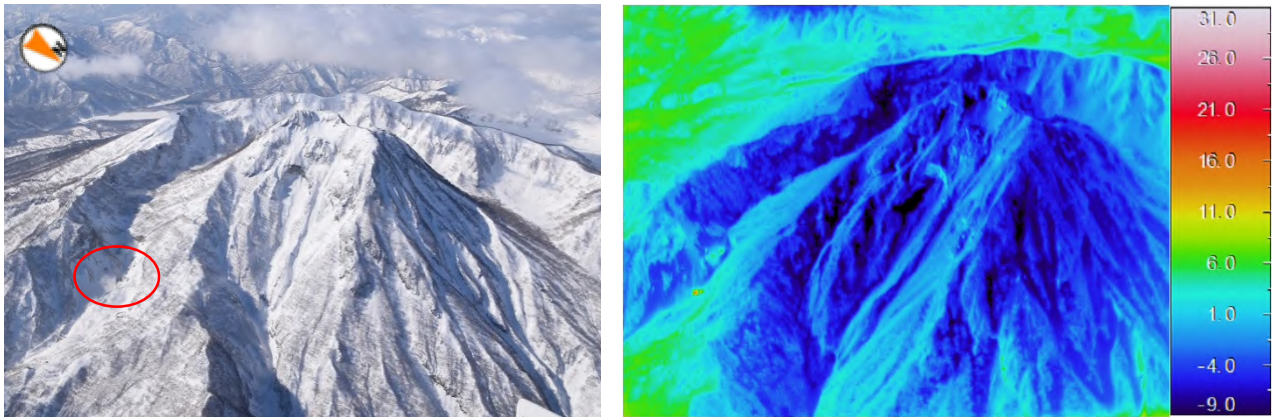


図 1 妙高山 南側の地獄谷噴気地帯の撮影方向

- ・ 図中の矢印は図 2 及び図 3 の撮影方向を示します。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧できます。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』『数値地図 25000(行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号:平 26 情使、第 578 号)。

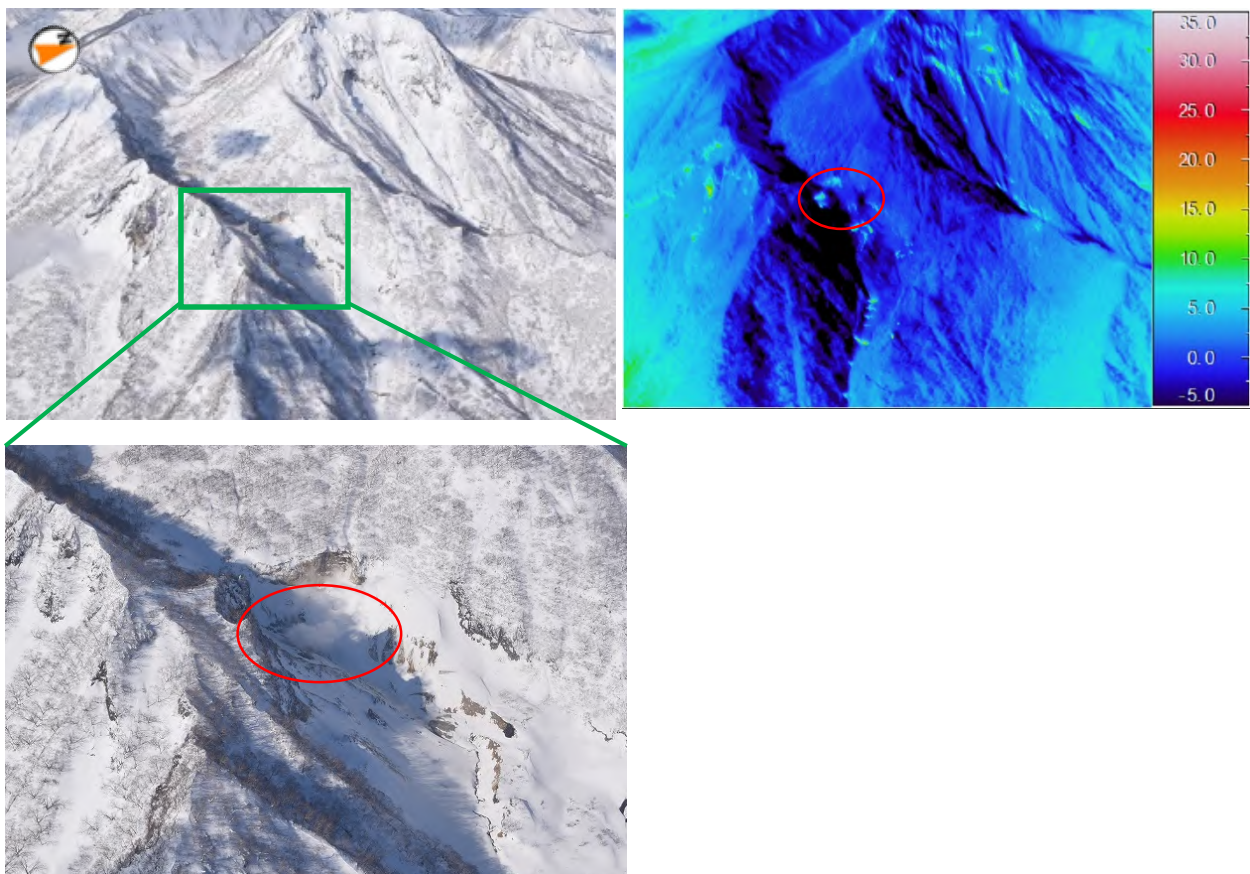


2016年1月28日11時17分撮影 高度約3,100m 外気温約-7  
(国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所の協力による)

図2 妙高山 赤外熱映像装置<sup>注)</sup>による妙高山付近の地表目温度分布

・赤丸で囲った範囲は南側の地獄谷噴気地帯を示します。

注) 赤外熱映像装置による観測。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の温度よりも低く測定される場合があります。



2016年1月28日11時18分撮影 高度約3,100m 外気温約-7  
(国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所の協力による)

図3 妙高山 赤外熱映像装置による噴気地帯の地表面温度分布

・南側の地獄谷噴気地帯から噴気が上がっているのを確認しました。その他に異常は認められませんでした。